

政策 02 保健・福祉・医療に関する政策

施策 04 高齢者福祉の推進

あるべき姿

高齢者が住み慣れた地域で安心と生きがいをもった生活をしています。

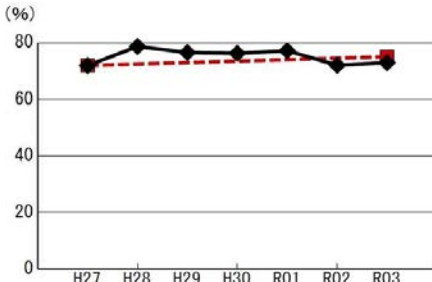
■ 施策の成果状況と評価

指標	介護保険利用者在宅生活をしている高齢者割合（％） 【介護保険課】	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		73.0	73.2	74.1	75.0	☀ (向上)
評価	(状況) 介護保険利用者在宅生活をしている高齢者割合は、基準値(73.0%)と比較して1.1ポイント向上し、前年度と比較しても0.9ポイント向上しました。					☀ (向上)
	(要因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度は在宅サービスの利用控えがありましたが、今年度は回復し向上しています。今後も在宅介護の高齢者が住み慣れた地域で少しでも長く暮らしていけるよう、介護サービスの充実を進めていきます。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

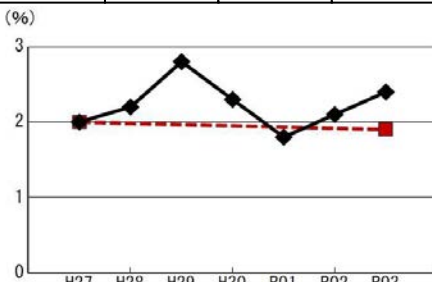
指標	自立している高齢者の割合（％） 【介護保険課】	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		87.4	87.5	87.4	88.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 自立している高齢者の割合は、基準値(87.4%)と比較して横ばいで、前年度と比較して0.1ポイント低下しました。					☁ (横ばい)
	(要因) 高齢化の進展に伴い、後期高齢者の割合が増加しているため、介護保険を利用して暮らしている高齢者は増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、予防事業等の人数制限を行っていたことが影響したものと考えます。					☔ (低下)
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)

■ 基本事業の成果状況と評価

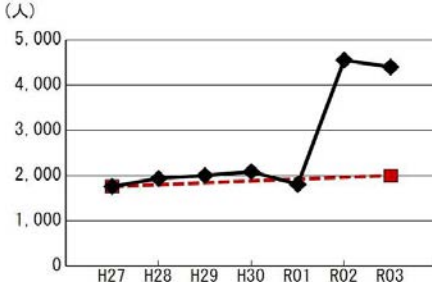
基本事業01 介護予防と社会参加の促進

指標	生きがいを持っている高齢者の割合 (%)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		71.9	72.0	72.9	75.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 生きがいを持っている高齢者の割合は、基準値(71.9%)と比較して、1.0ポイント向上しました。前年度と比較すると、0.9ポイント向上しました。 (要因) 老人クラブ活動や地域でのボランティア活動などの各種事業を連携して、生きがいづくりに積極的に取り組みましたが、令和2年度実績値が令和元年度と比較して5.1ポイント低下していることから、上昇傾向ではありますが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていると考えられます。					☀️ (向上) 目標 達成度 ■■■ (中)

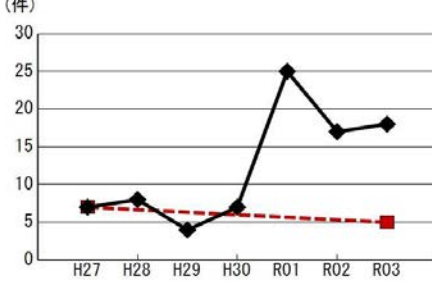
基本事業01 介護予防と社会参加の促進

指標	新規要介護認定者出現率 (%)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		2.0	2.1	2.4	1.9	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和3年度に新しく要介護認定を受けた65歳以上の方は856人、新規要介護認定者出現率は、65歳以上の高齢者人口35,788人の2.4%となり、基準値(2.0%)と比較すると0.4ポイント低下となり、前年度と比較すると0.3ポイント低下しました。 (要因) 高齢者人口の増加、緊急事態宣言による外出制限により、高齢者の身体機能が低下し新規申請の増加へ繋がった等が要因のひとつと考えられます。今後も引き続き、介護予防の必要性を啓発し、適切な介護認定に取り組みます。					☔️ (低下) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 日常生活の支援

指標	日常生活支援の延べ利用者数 (人)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		1,755	4,547	4,395	2,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 基準値(1,755人)と比較して、2,640人増加しています。 (要因) 民間において同様のサービスが実施されていることや、介護保険でのサービスの充実によりサービス利用者の選択の幅が広がったことが要因に挙げられます。今後も、サービスが必要な方に適切なサービスが提供されるよう、ホームページや高齢者福祉関連サービス一覧を活用し周知を図ります。 サービス実績データより算出					☔️ (低下) 目標 達成度 ■■■ (達成)

基本事業02 日常生活の支援

指標	高齢者虐待件数 (件)	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
		7	17	18	5	☔️ (低下)
評価	(状況) 高齢者虐待件数は、基準値(7件)と比較して、11件増加しました。 (要因) 高齢者虐待の通報義務が市民の方々へ浸透したこと、市への通報が多くなっています。また、高齢者数は今後も増加傾向にあり、介護者の負担や養護者との関係も複雑化することで、高齢者虐待が増加することが予想されます。今後も、高齢者の人権が守られるよう、要援護高齢者ネットワーク事業をはじめとした関係機関の連携を強化していきます。高齢者虐待防止法に基づく対応調査より算出					☔️ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 介護サービスの推進

指標	介護保険サービスの満足度（3年に1度）（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【介護保険課】	-	58.3	-	75	
評価	3年に1度の調査による指標取得のため、当該年度の指標の取得はありません。次回は第9期計画策定後の令和5年度に指標取得となります。	(%)				(比較不可)
						対 前年度
評価						(比較不可)
						目 標 達成度
評価						(---)

基本事業03 介護サービスの推進

指標	認定不服に関する審査請求件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【介護保険課】	1	0	0	0	☀
評価	(状況) 要介護認定に関する審査請求件数は、前年度と同様に0件で、目標を達成しています。	(件)				(向上)
	(要因) 利用者の個々の身体状況や環境状況、介護の考え方など苦情の原因は様々ですが、窓口等での説明によりご納得いただいたことによるものです。今後も引き続き、認定結果に不服が起きないように受付時や調査時に丁寧に説明していきます。					対 前年度
評価						☀
						(向上)
評価						目 標 達成度
						🏰
評価						(達成)

基本事業03 介護サービスの推進

指標	入所待機者数(要介護度3以上)（人）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【介護保険課】	157	130	138	120	☀
評価	(状況) 入所待機者数(要介護度3以上)は、基準値(157人)と比較して、19人減少しました。	(人)				(向上)
	(要因) 在宅サービスが充実したことや施設の基盤整備が進展したことが挙げられます。今後も、更に在宅の介護サービスを充実させていくとともに、施設の基盤整備を進めていきます。					対 前年度
評価						☀
						(低下)
評価						目 標 達成度
						🏰
評価						(中)

基本事業04 医療・介護連携の基盤づくり

指標	医療との連携による在宅生活ケア件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【介護保険課】	-	55	60	25	☀
評価	(状況) 医療との連携による在宅生活ケア件数は60件で、例年より一割程度少ない相談件数となっています。本人や家族からの相談の割合が増えています。	(件)				(向上)
	(要因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、入院できない患者が多く、入院件数が減ったことが要因と考えられます。また、感染症拡大防止のため入院中の面会が出来ないことから、本人や家族からの在宅療養に関する相談が増えていると考えられます。					対 前年度
評価						☀
						(向上)
評価						目 標 達成度
						🏰
評価						(達成)

基本事業04 医療・介護連携の基盤づくり

指標	関係機関からの医療介護連携に関する情報提供件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【介護保険課】	-	14	10	50	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度に引き続き、在宅医につながった件数が減少しています。	(件)				☂ (低下)
	(要因) 指数値減の要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響で相談件数が少なかったことと、市民への普及啓発が十分でなかったことが考えられます。 (本指標は、初期値がないため、前年度値からの比較にて、成果状況を評価しています。)					☂ (低下)
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

指標	介護保険料現年度収納率（普通徴収＋特別徴収）（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【介護保険課】	99.32	99.77	99.75	99.50	☀ (向上)
評価	(状況) 介護保険料現年度収納率は、基準値(99.32%)と比較して0.43ポイント向上し、前年度と比較しては0.02ポイント低下しました。	(%)				☀ (向上)
	(要因) 被保険者の理解が進んでいることに加え、早めの催告や納付勧奨を行っていることが挙げられます。今後も納付者との公平性を図るためにも、収納率の向上を目指します。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (達成)

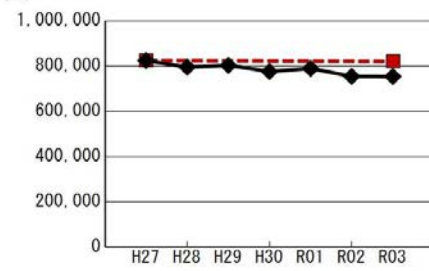
基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

指標	介護保険1人あたり給付費（円）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【介護保険課】	120,889	136,527	137,947	120,000	☂ (低下)
評価	(状況) 本指標は、利用しやすい介護制度の浸透と、過度な給付費の抑制のバランスを評価するものであり、令和3年度の後期高齢者（75歳以上高齢者）人口の伸び率(105.16%)に対し、一人あたり給付費の伸び率(101.04%)となり、人口の伸び率に対し、給付費が範囲内に収まっております。	(円)				☂ (低下)
	(要因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度は給付費が抑えられておりましたが、今年度は給付費の伸び率が戻りつつあるためです。					☂ (低下)
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (低)

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

指標	後期高齢者医療保険料 現年度収納率（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対基準値
	【国保年金課】	99.71	99.86	99.85	99.75	☀ (向上)
評価	(状況) 後期高齢者医療の現年度収納率は、基準値(99.71%)と比較して0.14ポイント向上しました。前年度(99.86%)と比較すると0.01ポイント低下しましたが、依然として高い水準を維持しています。	(%)				☀ (向上)
	(要因) 口座振替の推進や徴収強化の取組を推進したことが挙げられます。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (達成)

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

指標	後期高齢者 1 人あたり医療費（円）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【国保年金課】	824,009	754,033	753,465	820,000	 (向上)
評価	(状況) 後期高齢者1人あたり医療費は、基準値(824,009円)と比較して70,544円、前年度と比較して568円減少しました。					(対 前年度)
	(要因) 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により受診を控えたことが一人あたり医療費の減少に繋がったと考えられます。被保険者数の増加に伴い、今後は医療費の増加が見込まれますが、ジェネリック医薬品への推奨や、健康診査事業、令和2年度より開始された、保健事業と介護予防事業を一体的に実施する事業により、医療費・介護給付の伸びの抑制が期待できます。					 (横ばい) 目標 達成度  (達成)